

PostgreSQL プロダクトサポート規定

2025年4月版

株式会社アシスト
ビジネスインフラ技術本部

1. 概要

本サポートは、PostgreSQL 開発コミュニティ（ <http://www.postgresql.org/> ）から提供される PostgreSQL に適用されます。

本サポートは、PostgreSQL 開発コミュニティから提供される正規のプログラムであり、提供されるプログラム・ドキュメントに記載されている適切なハードウェア、オペレーティング・システム構成で、改変されず実行されており、サポート対象のリリースにおいて実証可能な問題（お客様の環境で発生したものを含まず）に対して提供されます。

2. 契約形態

「サーバ契約」「サイト 5 契約」、「サイト 25 契約」、「会社契約」の 4 種類の契約を提供します。

2-1. サーバ契約

当該プロダクトが導入されるコンピュータを「サーバ」と呼び、特定された 1 台のサーバに導入されたプロダクトに対する契約です。「サーバ」とは、物理的なコンピュータもしくは、物理的なコンピュータを論理的に区分けしたコンピュータいわゆる仮想サーバを意味します。すなわち、物理サーバ、仮想サーバであっても、1 つのサーバとして契約の単位とします。

Amazon RDS for PostgreSQL などのマネージドサービスについては 1 インスタンスを 1 サーバとして契約できます。ただし PostgreSQL 部分のみのサポート提供となり、当該マネージドサービス固有の事象や検証はサポート対象外です。

2-2. サイト 5 契約

営業所や事業所などの物理的な場所、もしくは 1 クラウド事業者を「サイト」とし、同一サイトにおける 5 サーバに対する契約です。

2-3. サイト 25 契約

営業所や事業所などの物理的な場所、もしくは 1 クラウド事業者を「サイト」とし、同一サイトにおける 25 サーバに対する契約です。

2-4. 会社契約

会社、行政法人、医療法人、公社、公団、公庫など、法人に対する契約です。法人に所属する人員数（会社であれば連結の従業員人数）ごとに設定されたサービスが提供されます。なお、該当プロダクトを利用する法人に所属する人員数によって評価されます。つまり、親会社が利用する該当プロダクトのサポート契約をシステム子会社が締結する場合、親会社の従業員人数で評価されます。

3. サポートメニュー

「エントリ」、「スタンダード」、「エンタープライズ」の3種類のサポートメニューを提供します。

なお、「サイト5契約」、「サイト25契約」、「会社契約」の場合、「スタンダード」、「エンタープライズ」のみ提供となります。

3-1. サポート内容

対応時間およびサポート内容によって「エントリ」、「スタンダード」、「エンタープライズ」の3種類のサポートメニューを提供します。

		エントリ	スタンダード	エンタープライズ
対応時間		平日 9:00 - 17:00	平日 9:00 - 17:00	24時間 365日
問合せ方法		Web/電話		
問合せ言語		日本語		
問合せ管理		問合せ専用ポータル		
問合せ分類		重要度定義		
内容	マニュアルレベルでの調査	○	○	○
	発生事象の再現確認	○	○	○
	ソースレベル確認		○	○
	修正パッチの提供	△	○	○
	各種ミドルウェアのサポート		○	○
	PostgreSQL 技術情報の配信	○	○	○

3-1-1. マニュアルレベルでの調査

インストール、パラメータ設定、マニュアルレベルの操作、バージョンアップに関するご質問にお答えします。

3-1-2. 発生事象の再現確認

適切なハードウェア、オペレーティング・システム構成で、改変されず実行されており、サポート対象のリリースにおいて実証可能な問題について、再現可能な範囲で動作確認を実施します。ただし、お客様環境のハードウェアやオペレーティング・システム、データベースのデータ量、データ分布、アプリケーションに依存する問題の場合、同現象を再現することができない場合があります。また、Amazon RDS for PostgreSQL などのマネージドサービスを使用した再現確認は行いません。

3-1-3. ソースレベル確認

当社にて再現した事象について、ソースレベルで問題の事象の原因を解析し、仕様上の問題か不具合に該当する問題なのかをご報告します。

確認対象のソースコードは PostgreSQL 開発コミュニティが提供したものになります。

3-1-4. 修正パッチの提供

対象のデータベース・システムで発生した障害が、サポート対象のソフトウェアが原因であることが判明した場合、障害原因を調査し改善策を提示します。改善策の提示は復旧方法、回避方法を中心としますが、ソフトウェアの修正でしか対応できない場合、可能な限りソフトウェア本体の修正を行います。ソフトウェアの修正を行った場合、PostgreSQL 開発コミュニティなど各コミュニティに修正パッチを提出します。お客様は開発コミュニティから提供された修正パッチを入手するものとし、当社は開発コミュニティから提供された修正パッチをサポートします。

アシストによる修正が開発コミュニティに採用されなかった場合は、お客様と相談の上、独自のパッチとして提供することを検討します。その場合、本来の開発コミュニティから提供されるソフトウェアをサポートするという内容からはずれるため、そのサポートについては別途協議するものとし、区分が「エントリ」の場合は既存パッチに関する情報提供を行います。

なお、Amazon RDS for PostgreSQL などクラウド事業者が提供するマネージドサービスに対するパッチ提供は行いません。ご利用のサービスがコミュニティ版の修正を取り込むのをお待ちください。

3-1-5. 各種ミドルウェアのサポート

自動フェイルオーバーや負荷分散、コネクションプーリング機能を備える Pgpool-II に関するサポートを提供します。

3-1-6. PostgreSQL 技術情報の配信

PostgreSQL に関する最新パッチ情報やバージョンに応じたサービスレベルの変更、最新のセミナー情報などを 3 カ月間隔でメールにて配信します。

配信先は弊社 WEB サポートシステム AWSC-2 (Ashisuto Web Support Center-2) 上のアカウントで指定したメールアドレスになります。アカウントをお持ちでない場合は以下より登録ください。

<https://www.ashisuto.co.jp/support/awsc2/detail/AWSC2-shinsei.html>

3-1-7. 重要度定義

お客様からの問合せに関する重要度は、お客様および当社により選択され、以下の重要度の定義により分類されるものとし、重要度により後述の対応時間、対応開始時間が異なります。

重要度 1

お客様の本番環境でサポートが締結しているプログラムの使用ができない場合、又は、大きな影響を受けて業務を合理的に継続できない場合をいいます。つまりお客様の業務の遂行に全面的に支障がある状態や、業務がビジネス上ミッション・クリティカルであり緊急の状態をいいます。重要度 1 のお問い合わせは以下の項目を 1 つ以上含む場合に該当します。

- ・ データが破壊される。
- ・ プログラム・ドキュメント上に記載されている重要な機能が動作しない。
- ・ システムがいつまでもハングすることにより、リソース又は応答に対し、容認できない又は際限ない遅延が発生する。
- ・ システムが破壊される。何度か再起動を試みた後も破壊された状態が継続する。

※ 基本対応時間外に緊急での対応をご希望の場合は、お電話でもご連絡ください。

重要度 2

お客様の業務の遂行に重大な支障がある状態をいいます。容認できる回避策が無く、重要な機能を利用できないが、限定された方法で業務が継続できる状態をいいます。

重要度 3

お客様の業務の遂行に軽微な支障がある状態をいいます。業務上不都合な影響があり、機能を復旧させる回避策が必要となる場合があります。

重要度 4

お客様のソフトウェアに関して、情報、改善案、又はプログラム・ドキュメントの明確化を依頼しているが、そのソフトウェアの運用に影響が無い状態をいいます。お客様の業務の遂行に支障がなく、システム運用を妨げない状態をいいます。

3-2. 対応プロダクト

「6. ライフタイム・サポート」に規定されたバージョンの PostgreSQL と、そのバージョンに対応する下記ソフトウェアがサポート対象となります。

- ・ PostgreSQL 本体
- ・ contrib ツール
PostgreSQL に同梱して配布されるすべての contrib ツール
- ・ データベースサーバに接続する API
C(libpq)、JDBC、ODBC、PHP、.NET(Npgsql)
- ・ 各種ユーティリティ
pg_bulkload、pg_dbms_stats、pg_hint_plan、pg_repack、pg_rman、pg_statsinfo/pg_stats_reporter、pgAdmin4、pgBadger、pg_bigm、pg_ivm、pg_store_plans、pgAudit、pgAudit Log to File、pgfincore ※
- ・ 各種ミドルウェア（スタンダード、エンタープライズのサポートが対象です）
Pgpool-II、Slony-I ※
- ・ 追加オプション（通常メニューに追加のオプション料金が必要になります）
PostGIS

※ pgfincore、Slony-I は 2024 年 2 月以前よりご利用のお客様のみサポート対象です。
2024 年 3 月以降にご契約いただいたお客様はサポート対象外になります。

3-3. 対応プラットフォーム

以下のプラットフォーム上で動作する PostgreSQL をサポート対象とします。

- Red Hat Enterprise Linux 7、8、9
- Oracle Linux 7、8、9
- CentOS 7
- Rocky Linux 8、9
- Amazon Linux 2、2023
- Windows Server 2008R2、2012、2012R2、2016、2019、2022 ※1
- Windows 7、10 ※1
- Windows Server 2003、2003R2、2008 ※2
- Solaris 9、10、(SPARC, x86) ※2
- HP-UX 11i 以降 ※2
- Amazon RDS for PostgreSQL ※3
- Amazon Aurora for PostgreSQL ※3

※1 Windows 固有の注意点について

Windows のインストーラーはコミュニティサイトで公開されているもののみをサポート対象とします。

<https://www.postgresql.org/download/windows/>

PostgreSQL のバージョンと Windows の種類によりサポート対象となる組み合わせがあるためご注意ください。サポート対象外の組み合わせの場合、インストール時に発生する問題や、運用時に特定 Windows でのみ発生する OS 固有の問題についてサポートできない場合があります。

※2 Windows Server 2003、2003R2、2008 および Solaris、HP-UX は 2024 年 3 月のプロダクトサポート規定の改定以前からご利用のお客様のみサポートしますが、実機での再現検証ができない場合があります。改定以降、新規にご契約のお客様はサポート対象外です。

※3 コミュニティ版 PostgreSQL としてのサポートを提供します。クラウドサービスでしか発生しない障害や固有の機能に関するご質問はサポート対象外です。

※ OS 開発元でサポート終了 (EOL) となった場合の扱いについて

EOL 終了後の OS 環境での検証及び該当 OS 固有と考えられる事象についてはサポート対象外です。

OS 固有ではない事象についての製品サポートは対応します。

3-4. 異なるバージョンのサポート提供

原則として一つのサーバ契約ではメジャーバージョン/マイナーバージョンに関わらず、1 つのバージョンの PostgreSQL ソフトウェアのサポートを提供します。同一サーバ上に異なるバージョンの PostgreSQL をインストールする場合には、追加のサーバ契約が必要です。

ただし、バージョンアップに関する問い合わせに関しては、最大 3 か月間を移行準備期間として、稼働環境に関わらず、新旧両バージョンのサポートを提供します。

4. 受付方法と対応時間

4-1. 受付方法

電話または WEB より本サポートのお問合せを受け付けます。

WEB サポートシステムの AWSC-2(Ashisuto Web Support Center-2)では過去の問合せ履歴も参照可能です。また、当社プロダクトサポート対象の複数の製品、サポート ID の問合せを同時に管理可能です。

電話 : 0120-297274

WEB : <https://ashisuto.my.site.com/awsc2/>

※緊急の場合には、必ずお電話でのご連絡をお願い致します。

※AWSC-2 をご利用いただくには、WEB サイトより事前にアカウント登録が必要です。

4-2. 受付時間・対応時間

サポートメニューごとに受付時間、対応時間が異なります。

・ エントリ

受付時間

月曜日から金曜日（土日、祝祭日、年末年始など弊社特別営業休業日を除く）9:00 - 17:00
（12:00 - 13:00 除く）

※WEB は 24 時間受け付けておりますが、上記時間外に受け付けた質問の回答は翌営業日以降とさせていただきます。16:00 以降に頂いた問い合わせは翌営業日の対応になる場合があります。

対応時間

月曜日から金曜日（土日、祝祭日、年末年始など弊社特別営業休業日を除く）9:00 - 17:00
（12:00 - 13:00 除く）

・ スタンダード

受付時間

月曜日から金曜日（土日、祝祭日、年末年始など弊社特別営業休業日を除く）9:00 - 17:00
（12:00 - 13:00 除く）

※WEB は 24 時間受け付けておりますが、上記時間外に受け付けた質問の回答は翌営業日以降とさせていただきます。16:00 以降に頂いた問い合わせは翌営業日の対応になる場合があります。

対応時間

月曜日から金曜日（土日、祝祭日、年末年始など弊社特別営業休業日を除く）9:00 - 17:00
（12:00 - 13:00 除く）

・ エンタープライズ

受付時間

24 時間 365 日

対応時間

「重要度 1」に該当する問題

24 時間 365 日対応

「重要度 1」に該当しない問題

月曜日から金曜日（土日、祝祭日、年末年始など弊社特別営業休業日を除く）9:00 - 17:00
（12:00 - 13:00 除く）

4-3. 対応開始時間

受付完了後、1 時間以内にご連絡するよう合理的な努力をします。

5. データ・リカバリ・ポリシー

アシストが定義するデータ・リカバリ方法とそのプロダクトサポートの考え方を記載します。
データ・リカバリ方法は、「バックアップ」、「フェイルオーバー」、「物理レプリケーション」、「論理レプリケーション」の4種類に分類されます。

5-1. バックアップ

データベースの物理的なデータベース構造のコピーをとる方法です。データベース構造のコピーをコンピュータ、ストレージ、テープなどの媒体に格納する場合、そのコピーに対してプロダクトサポート契約の価格を適用する必要はありません。

5-2. フェイルオーバー

コンピュータは「クラスタ」で構成され、あるコンピュータが本番コンピュータとして機能し、本番コンピュータにエラーが発生した場合、クラスタ内の待機系コンピュータの1つが本番コンピュータとして機能する方法です。待機系コンピュータ側のデータベースは常に停止していることが前提になります。待機系コンピュータに導入された当該プロダクトに、プロダクトサポート契約の価格を適用する必要はありません。

以下のクラスタソフトウェアを採用したフェイルオーバー(アクティブ・スタンバイ)構成が本定義に該当します。

CLUSTERPRO、LifeKeeper、HACMP、ServiceGuard、Amazon RDS/Aurora の Multi-AZ 配置など

5-3. 物理レプリケーション

PostgreSQL のストリーミング・レプリケーションの機能を使用して1つまたは複数の本番データベースのコピーが別の待機系コンピュータ上に常に維持される構成です。

待機系コンピュータは地理的に別の場所に設置されることがありますが、本番データベースが更新されると生成されたログ情報が待機系コンピュータに送られ、待機系コンピュータ上のデータベースに適用されます。本番データベースにエラーが発生した場合、待機系コンピュータ上のデータベースが本番データベースとして機能します。待機系コンピュータは、読み取り専用モードで起動、アクセスすることができます。

待機系コンピュータに導入された当該プロダクトには、プロダクトサポート契約価格の50%が適用されます。

また「サイト5契約」、「サイト25契約」の対象サーバ数として、レプリケーションの待機系コンピュータ(サーバ)は0.5台としてカウントされます。

なお、Amazon Aurora の読み取り専用レプリカは、ストリーミング・レプリケーションの機能ではありませんが、待機系コンピュータ同様、読み取り専用モードで起動、アクセスすることができるため、Reader インスタンスはプロダクトサポート契約価格の50%、サイト契約の場合は0.5台としてカウントします。

5-4. 論理レプリケーション

PostgreSQL のロジカル・レプリケーションや Slony-I の機能を使用して、複数のデータベースと同期を取る構成です。読み取り専用で起動するストリーミング・レプリケーション構成に対して、受け取り側(サブスクライバ)側も読み書き可能な状態でデータベースが起動していることが特徴です。

この構成においては、全てのデータベースに独立してアクセス/更新することができるため、各サーバにプロダクトサポート契約価格の100%が適用されます。

6. ライフタイム・サポート

アシストが定義するライフタイム・サポートの考え方を記載します。

ライフタイム・サポートは「FULL SUPPORT」、「CONTINUOUS SUPPORT」、「EXTEND SUPPORT」の3つのフェーズに分かれて提供されます。

6-1. FULL SUPPORT

PostgreSQL 開発コミュニティのプロダクトメンテナンス期間中に提供するサポートです。

PostgreSQL 開発コミュニティでは、プロダクトのメンテナンス期間をプロダクトの提供開始日 (First Release date) から5年経過後、最後のマイナーリリース (Final Release) が提供されるまでの期間と定めています。本期間では「3. サポートメニュー」で定義したサポートを提供します。

詳細は下記 URL をご確認ください。

<https://www.postgresql.org/support/versioning/>

6-2. CONTINUOUS SUPPORT

プロダクトの提供開始から「FULL SUPPORT」を除いた7年間に提供するサポートです。

PostgreSQL 開発コミュニティではプロダクトメンテナンス期間が終了しているため、「3-1-4. 修正パッチの提供」で定義した、コミュニティへの不具合の報告およびパッチ提供を行いません。

6-3. EXTEND SUPPORT

「CONTINUOUS SUPPORT」終了後の3年間に提供するサポートです。

PostgreSQL 開発コミュニティではプロダクトメンテナンス期間が終了しているため、「3-1-4. 修正パッチの提供」で定義した、コミュニティへの不具合の報告およびパッチ提供を行いません。

なお、EXTEND SUPPORT 期間はプロダクトサポート契約価格に1.2倍(120%)した価格が適用され、お客様の契約期間中にEXTEND SUPPORT 終了日を迎える場合は、契約期間満了日までこの価格が適用されます。

6-4. プロダクトサポート期間

PostgreSQL のプロダクトサポート期間を以下に記します。

バージョン	提供開始日	FULL SUPPORT 終了日 ※	CONTINUOUS SUPPORT 終了日	EXTEND SUPPORT 終了日
17	2024/09/26	2029/11/08	2031/09/30	2034/09/30
16	2023/09/14	2028/11/09	2030/09/30	2033/09/30
15	2022/10/13	2027/11/11	2029/10/31	2032/10/31
14	2021/09/30	2026/11/12	2028/09/30	2031/09/30
13	2020/09/24	2025/11/13	2027/09/30	2030/09/30
12	2019/10/03	2024/11/14	2026/10/31	2029/10/31
11	2018/10/18	2023/11/09	2025/10/31	2028/10/31
10	2017/10/05	2022/11/10	2024/10/31	2027/10/31
9.6	2016/09/29	2021/11/11	2023/09/30	2026/09/30
9.5	2016/01/07	2021/02/11	2023/01/31	2026/01/31

※Final Release の提供日により期間が前後する場合があります。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。